浜松医科大学開学四十周年記念誌

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2015-12-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 開学四十周年記念誌編集専門委員会 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/2800

5. 技術部

1. 沿革

開学当時は，技術職員（事務職員をおく講座もあった）は各講座に配置されていた。しかしその後，平成 11 年 12 月に承認された「浜松医科大学教室系技術職員の組織等に関する規定」に基づき，本学技術部は平成 12 年 4 月 1 日に発足した。「（技術部は）職務が教育，研究の進展に伴って高度化，専門化していることにかんがみ，その能力，資質の向上を図るとともに，教育，研究及び診療支援体制の充実に資することを目的とする」という設立の趣旨に基づいている。さらに全学的な教育，研究，診療体制を築き，その効率的運営を目指し，技術職員の多くを実験実習機器センター等の共同施設に配置換えした。一方で解剖等の特別な業務を受け持つ講座は講座付きに技術職員を残すこととなった。この様に，技術部は実験実習機器センター動物実験施設や廃棄物処理センター，講座およびその他の部署の技術職員から成る。技術職員の代表として副技術部長が選任され，教授会での選挙において任命される実験実習機器センター長が技術部長を兼務することになっている。

2. 現状

上記の設立趣旨にのっとり，各技術職員は各担当部署 / 業務において，各々の技術力の向上と業務の効率化に研鑽を重ね，本学の教育，研究及び診療に対する高度なレベルでの支援の実現に尽力している。

実験実習機器センターでは現在 12 名の技術職員と 3 名の非常勤職員が在籍している。代表的な研究支援業務をあげると，中央機器分析室では DNA 塩基配列解析，質量分析，細胞イメージング等の基幹機器の解析，形態系実験室では組織 / 病理学的解析，超微形態系では電子顕微鏡解析を担っている。動物実験施設の職員は，研究に用いる実験動物の搬入，飼育，管理等を担っている。医療廃棄物処理センターでは，診療，研究等において出た廃棄物の処理の実施と効率化を担っている。その他の技術職員は，病理学，解剖学，法医学，総合人間科学，看護学等の講座に在籍する技術職員，手術部，放射線部等病院業務に従事する職員，は各担当業務の遂行と技能の向上，業務の効率化を目指し，教育，研究，診療を支援している。

3. 担当職員

平成 25 年度技術部職員

伊藤　武司	解剖学講座（神経機能学分野）
袴田　悦子	産学官共同研究センター
本田　一臣	医学部附属病院放射線部
小楠　敏代	医学教育推進センター
藤江　三千男	実験実習機器センター
鈴木　一成	医療廃棄物処理センター
金田　正昭	再生・感染病理学講座
由良　正幸	医学部附属病院手術部
柴田　清	実験実習機器センター
加茂　隆春	腫瘍病理学講座
門畑　一久	実験実習機器センター
榛葉　節雄	動物実験施設
菅谷　圭子	看護学科基礎看護学講座
野末　佳春	実験実習機器センター
鈴木　雅子	実験実習機器センター
長井　伸子	医学部附属病院耳鼻咽喉科
鈴木　直美	実験実習機器センター
宮澤　雄一	医療廃棄物処理センター
刑部　光利	動物実験施設
五十嵐　久喜	腫瘍病理学講座
宮田　学	実験実習機器センター
石野　直己	医学部附属病院材料部
川端　弥生	実験実習機器センター
太田　勲	実験実習機器センター
外山　美奈	総合人間科学
熊切　葉子	実験実習機器センター
石井　聡	法医学講座
足立　直樹	実験実習機器センター
佐々木　健	解剖学講座（神経機能学分野）
鈴木　一寿	実験実習機器センター
神谷　あゆみ	医療廃棄物処理センター
竹内　秀人	医学部附属病院材料部

期間中在職者（H16-H25 年 3 月）

鈴木　則夫，小島　義次，鈴木　初夫，永嶋千枝子，鈴木　孝征，伊藤　則行，村中　祥吾，太田原佳久，日野岡　國一

副技術部長

小島　義次	H16 年 4 月～ 19 年 3 月
鈴木　一成	H19 年 4 月～ 22 年 3 月
柴田　清	H22 年 4 月～ 24 年 3 月
宮田　学	H24 年 4 月～

技術部長

浦野　哲盟（医生理学）H16 年 4 月～ 24 年 3 月
北川　雅敏（分子生物学）H24 年 4 月～ 26 年 3 月
福田　敦夫（神経生理学）H26 年 4 月～

（北川雅敏）